茨城の農業

茨城県は、温暖な気候と平坦な広い農地に恵まれた農業産出額全国３位の農業県で、園芸部門（いも類、野菜、果実、花き）の割合が高く、カンショ（サツマイモ）やメロンなど産出額上位の品目が多いのが特徴です。また、首都圏への重要な食糧供給基地としての役割も果たしています。

県は大きく５地域に区分され、各地域で特色のある農業が展開されています。主な産地や品目などは以下のとおりです。

県央　平坦地域と中山間地域で、多種多様な農業

・様々な園芸産地
（ニラ、メロン、レンコン、ネギ
業務用キャベツ、クリ、コギク）
・全国一の干し芋（ほしいも）産地
・畜産（酪農、採卵鶏）
・米麦などの大規模土地利用型農業

県北　中山間地域で、小規模ながらも観光と結びついた特色ある農業

・有機農業モデル団地
・観光果樹産地（ブドウ、ナシ、リンゴ）
・直売所向けの多品目野菜
・奥久慈ブランド野菜（ナス、ネギ）
・新規参入者による奥久慈イチゴ産地
・枝物の広域産地
・良食味米産地
・畜産（繁殖和牛、肉用牛、奥久慈しゃも）

鹿行　全国トップレベルの産出額を誇る、園芸主体の農業

・施設野菜の大産地
（メロン、イチゴ、トマト、ミニトマト、
ピーマン、コマツナ、ミズナ
オオバ、ホウレンソウ、パクチー）
・露地野菜（根菜）の大産地
（カンショ、ニンジン、エシャレットなど）
・温暖な気候を活かした花き産地
（センリョウ、ワカマツ、輪菊）
・畜産（養豚）
・地域ブランド米

県西　首都圏へのアクセスと平坦な地形を生かした大規模農業

・露地野菜（葉菜類）の大産地
（レタス、ネギ、ハクサイ、キャベツ）
・果菜類の産地
（こだまスイカ、イチゴ、トマト、キュウリ、
メロン、ズッキーニ、ニガウリ）
・果樹（ナシ）
・畜産（肉用牛、養豚、採卵鶏）
・米麦などの大規模土地利用型農業

県南　都市化と共存する多様な農業

・水稲の大規模経営
・生産量日本一のレンコン産地
・果樹（ナシ、ブドウ、クリ）
・野菜産地（ネギ、イチゴ、トマト、カボチャ）
・花き産地（グラジオラス、コギク）
・畜産（繁殖和牛、養豚）
・有機農業
・都市農村交流の取り組み

※上記の記載内容は、地域農業のイメージや代表的な品目などであり、全てを網羅しているわけではありません。